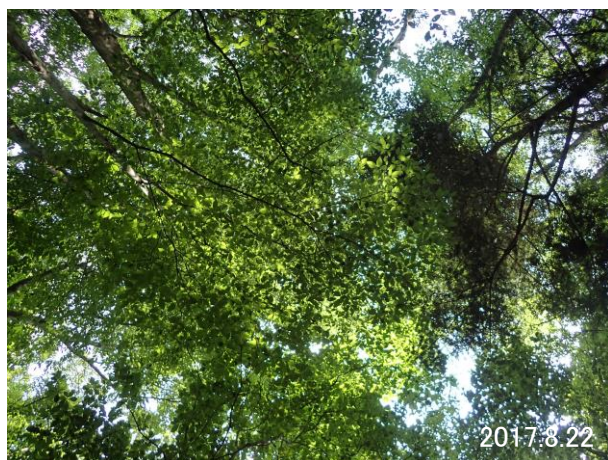


猿ヶ城アズマシャクナゲ希少個体群保護林

希少-17

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 茨城森林管理署
所在地	茨城県 北茨城市
面積	28.40ha
設定年	2004(H16)年
保護林の概要 (設定目的)	天然広葉樹林内にアズマシャクナゲが生育しており、八溝多賀地域では珍しく、学術上貴重である。また、茨城百景にもなっている。このため、アズマシャクナゲが生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2017年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、イヌブナ、ミズナラが優先する各群落において調査プロットを計2か所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測および植生の種組成の概要及び保護対象種であるアズマシャクナゲの生育状況等を把握。(旧猿ヶ城シャクナゲ植物群落保護林)
結果概要	アズマシャクナゲの個体の生育状態は良好であるが、アズマシャクナゲの保護林内の分布は局所的であり、低木6個体と実生2個体が確認された程度であるが、アズマシャクナゲを含む植物群落は健全に生育しており、本保護林は良好な状態で維持されている。